



10年度イベント計画



☆森とのふれあい (体験林業)

◇5月17日(日) 知床国有林と知床森林センター *森の手助け・植樹と木炭焼き 23名

☆森林レクリエーション・in知床

◇6月6日(土) 知床遊歩道山麓 *新緑の森で森林浴と自然観察 23名

☆森林レクリエーション・in知床

◇6月20日(土) 知床自然観察教育林 *初夏の森で森林浴と自然観察 23名

☆森とのふれあい (体験林業)

◇7月3日(金) 知床国有林と知床森林センター *森の手助け・除伐と木炭焼き 23名

☆森林レクリエーション・in知床

◇8月1日(土) 羅臼湖 *植物観察と湖沼巡り 45名

☆森林レクリエーション・in知床

◇8月19日(木) 知床破火山新噴火口 *登山と植物観察 45名

☆森林レクリエーションin・知床

◇10月13日(火) 自然観察教育林 *紅葉の森で森林浴と自然観察 23名

☆森とのふれあい

◇10月18日(日) 斜里町周辺国有林 *自然観察会 20名

☆森とのふれあい

◇11月8日(日) センター・セミナールーム *講演 35名

☆森とのふれあい

◇1月9日(土) センター・セミナールーム *親子木工体験 35名

☆森とのふれあい

◇2月27日(土) 斜里町周辺国有林 *歩くスキーと自然観察会 30名

☆森林レクリエーション・in知床

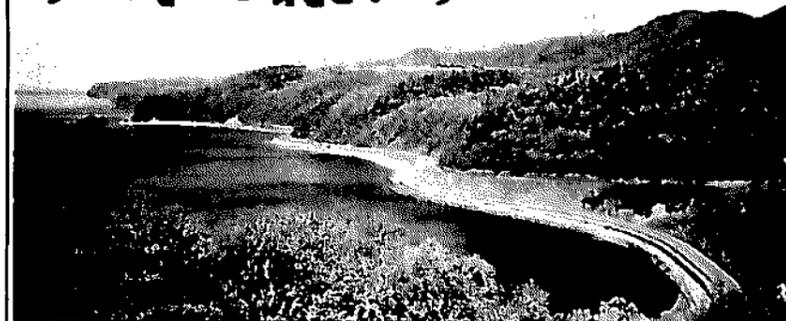
◇3月12日(金) 知床遊歩道山麓 *冬の森で歩くスキーと動物観察 23名



個々のイベントは各報道機関及び広報等でお知らせいたします
問い合わせ 知床森林センター Tel 01522-3-3009

知床の森から

平成10年4月 第54号



北見管区支局 〒099-41 北海道斜里郡斜里町本町1番地
知床森林センター Tel 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160
メールアドレス siretoko@cocoa.ocn.ne.jp



キタコブシ (モクレン科)
農業の指標植物、田打ちザクラ、雪まきザクラなどよばれて親しまれている。知床では清純な白い花が咲く頃は、まだ寒さが残ります。

第19回 森とのふれあい

【冬の森で歩くスキー自然観察】

平成9年度最後のイベント、第19回「森とのふれあい」『冬の森・歩くスキー自然観察』を斜里町歩くスキー同好会との共催で2月28日(土)に実施しました。

イベントコースは、斜里町市街地の北側にあつて、オホーツク海を望む国有林で、通称「発見の森」です。当日は、うすぐもりの空模様でしたが、風の無い穏やかなスキー日和となりました。

斜里町博物館前に集合した参加者12名(男4・女8)は、担当者からの説明を受けた後、準備をととのえ、発見の森へ出発しました。

イベントコースは、針葉樹や広葉樹の森を通り、地形は平坦地や傾斜地など、変化にとんでいます。参加者の中には、スキー



(インストラクターの説明を聞き入る参加者)

が思うように行かなく転ぶ人もいましたが、そのたびに廻りから励ましの声や笑いが森中に響きました。

コースを進みながらところ所で立ちどまり、森林インストラクターから冬の森のこと、樹木の様子などの説明があり、熱心に聞き入っていました。また、森の中では小鳥のさえずりや、小動物等の足跡も見られ、雪の森に一層魅せられた様子でした。

コースを進むにつれ、スキー操作もだんだん上手になり、インストラクターの説明にも余裕をもって聞き入っていました。

約4kmのコースを2時間半かけ、心地よい汗をかきながら、冬の森の自然観察を満喫し、無事雪の森に別れを告げました。



(発見の森を歩くスキーで楽しむ参加者)

エゾシカの樹木食害に対する防除策等の試み

木タールの塗布・金網巻きを取り組み

前号では、知床半島（ウトロ地域）に設定したエゾシカの樹木食害調査区での調査結果について報告しましたが、今号では、今年3月に試験的実施をした木タールの塗布と金網巻きについて報告します。

… 調査区の食害状況 …

調査区は、前号で報告しているイチイの林木遺伝資源保存林です。

面積は7.65 haで、地況・林況的に見てエゾシカが越冬することの出来る条件を備えている箇所です。

食害状況は、調査区における樹種構成割合に関係なく食害を受けており、オヒョウニレとイチイが8割を占めています。

また、嗜好性が強く示されたオヒョウニレとイチイの被害状況は、直径階にあまり関係なく食害を受けており、50cm以上の食害も見受けられたことや、食害の程度も全周のものが多いこと、食害の高さも2mを越えるものがありました。

… 試験的な防除策の取り組み…

調査は、今後も食害が多く予想されるイチイを対象に行いました。調査 木の選木



(金網を巻いたイチイ)

に当たっては、全く食害を受けていないものと、食害部位が半周以内で止まっている木を選木し、以下の試験を行うことにしました。

- ①北海道大学と共同で、70本のイチイを選木し木の全周に高さ2m程度まで木タールを塗布し、防腐・忌避の両面からみる防除効果を観察することとしました。
- ②当センター独自に、40本のイチイに金網を巻き付け防除効果の推移を観察することとしました。

… 今春の被害状況把握について…

エゾシカ樹木食害が落ち着く4月中旬に、定期的実施する被害把握調査を行いました。

結果は、調査区全域で既に食害を受けているオヒョウニレ4本（防除はしていない）の根元一部が食害を受けているだけでした。

樹木食害が少なかった原因の一つとして、今年は例年に比べ降雪量が少なく、ササを主体とする草本類が埋雪しなかったことが大きな要因ではなかったかと推測されます。

今回実施した防除について、その効果を見る事が出来ませんでした。今後も継続した調査を行っていくことにしています。



(木タールを塗布したイチイ)

奥の深い知床の魅力

志村英男

知床半島にも春が訪れた。知床の山々は峰筋から黒くなり、まだモノトーンの世界だが、やがて緑が顔を出す。もうすぐ自然は活力に溢れ生命は躍動する。

知床半島をフィールドとする知床森林センターに勤務してから満6年になり、そして今年の3月に退職をしたばかりである。

夢中になって知床の自然に親しんできたように思う。

自然には余分なものはなく、欠けるものもないといわれるが、この知床にもそれは当てはまる。好奇の目で眺めるとき、原始の姿を多くとどめるこの知床は、俄然興味の宝庫となる。山川草木、鳥獣虫菌などもいかにもいわくがありげで、黙過するに忍びない。疑問が沸いて、疑問を疑問のまま



(コヨウラクツツジ)



(ラウス湖二の沼から羅臼岳を望む)

残したくないばかりに、結果として知り得たものも少なくない。

それにしても知床半島は広い。脚力がものをいうフィールドでは行動範囲は制約される。広く感じるゆえんである。ということは知床のもつ魅力を満喫するには時間がかかるということに落ち着く。

また興味が疑問を生み、好奇心を納得させるには知床の自然はあまりにも奥が深いのである。

人や文献との出会いがあるから助かるが、自然は計り知れない神秘に包まれている、自ずと謙虚になってしまう。

半島の自然は今後も四季を繰り返しながら、存在し続けることだろう。

知床の自然で知り得たことの数々、センターの諸氏や多くの方々との交友の記憶で、いま私の心は満たされている。

お知らせ

参加者募集中

皆さんどうぞよろしく

4月に北見営林支局販売課から知床森林センターに配属になりました玉川晴幸です。

出身は網走で海を身近に感じ育ちました、網走～北見～斜里と転勤し、北見へ住んでいた頃は海が恋しく、斜里に来て潮の匂いを感じた時は安心しました。

斜里は女性的な曲線が美しい海別岳、男性的な急峻勇壮な斜里岳を身近に見ることができ夕日に映える岳を見ていると、その存在感に圧倒されます

周囲の諸先輩方々に色々教わりながら勉強していきますので皆さんどうぞ宜しくお願いします。 緑化第1係 玉川 晴幸

森とのふれあい

- 内容 森の手助け植樹と炭焼き
- 日時 5月17日
- 場所 知床国有林
- 募集 23名
- 応募 はがきでイベント名、住所氏名、年齢、電話、を書いて知床森林センターまで
- 締切 5月8日当日消印有効
- 参加費 保険料として 200円
なお応募者が多数の時は抽選になります。詳しくは知床森林センターまでお問い合わせ下さい。